

## 熊本市議会議員の

## 高本一臣です。



また  
この度の人吉・球磨地方、八代市、

県北の集中豪雨により、被害を受けられた皆さま、関係者の方々に心よりお見舞い申し上げます。  
（月時点では）対岸の「火事」だった新型コロナウイルスの感染拡大は留まるところを知らず、県内、国内、世界においても厳しい状況が続き、私たちの生活を一変させました。

本市におきましては、皆様のご協力のおかげで感染拡大は、抑えられている状況にあります。

ただ、再び拡大する可能性があるため、長丁場に備えて「新しい生活様式」を定着させていく必要があります。

このようなか、6月議会において「市民生活・経済支援」「第2波の対策」「新しい生活様式への対応」を中心とした補正予算を可決しました。（詳しくは、裏面に掲載）

これからもコロナ禍の確かな情報を伝えていきながら、市民の皆さんが安心して暮らせる政策を導いてまいります。

## 一の井手にかかる

## JR西梁踏切拡幅工事 と周辺歩道整備



### 【踏切現状】

JR新水前寺駅と南熊本駅間の西梁踏切は、白山通りと八王寺通りをつなぐ道路に位置しており地域住民の日常生活に重要な役割を果たしています。一方で、踏切の中が狭いため、自動車・自転車・歩行者の安全性確保が課題となっています。

### 【工事の目的】

踏切を拡幅して、歩行者・自転車の安全を確保する。  
また、周辺道路の整備を行う。  
（総事業費・現時点で約5億円）

### 【工事計画】

踏切拡幅にあたっては、一部の地権者との協議が難航したため、再度JR側と協議を今秋から開始します。また、線路に沿って踏切から白山小に向かう更地に、幅3メートルの歩行者・自転車の専用通路を整備します。こちらは、早ければ9月末に供用開始する予定です。（写真参照）

# 新型コロナウイルス感染症に係る緊急対策【第6弾】

## 1 市民生活・経済への支援 47.6億円

- ひとり親世帯への臨時特別給付金の支給 11.8
  - ・児童扶養手当受給世帯に5万円、第2子以降1人につき3万円を追加
  - ・児童扶養手当受給世帯に2万円
- 住居確保給付金（収入が減少した世帯への家賃支援）の増額 4.5  
（最大3.1万円（単身世帯の場合）/月（最長9月））
- 人材が不足する介護分野へ就職される方を支援 0.5  
（就職奨励金（最大15万円）、介護職員初任者研修の開催）
- 廃業された方の起業を支援（再チャレンジ支援事業） 0.5  
（相談窓口設置・助成金による支援（今回予算計上）、さらに既存の制度融資によりサポート）
- 乗客が大きく減少したバスの運行継続を支援 3.6
- 市内宿泊を伴う旅行商品に対する助成 3.6  
（国のGoToキャンペーンに先がけて販売、1人当たり2万円以上の旅行商品に対し1万円など）
- コロナ禍に対応したMICE誘致 0.1  
（感染防止対策を講じたコンベンション主催者に対する助成金の強化（上限200万円に倍増）など）

## 2 第2波対策（感染拡大の防止） 8.4億円

- 防護服（4.8万着）、マスク（36.9万枚）等を備蓄 3.5
- 市電車両の感染防止対策（座席改修及び抗ウイルス液による車内コーティング） 0.4
- 市民会館、博物館、スポーツ施設等の感染防止対策 0.5  
（サーマルカメラ、空気清浄機等の整備など）

## 3 「新しい生活様式」への対応 0.9億円

- 医療・社会福祉施設等におけるオンライン面会の環境を整備 0.7
- 児童養護施設等におけるオンライン学習の環境を整備 0.2

## 4 学校再開に当たっての対応 5.3億円

- 休校の影響を踏まえ、きめ細かな学習を支援する指導員を配置（各校2名） 1.7
- 各学校の創意工夫による学びのための教材等の充実 1.9